

## 1. 神戸市環境事業基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	922,604,923	
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	722,604,923
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	162,170	
③	その他収入	15,352,998	
④	負担附寄附金等		
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	60,649,130	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	877,470,961	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,000,000
		うち、地方負担相当額	677,470,961
		うち、負担附寄附金等	

## 2. 保有割合

	次年度の基金類型	運用型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金運用益 (次年度見込額)		162,170	
⑨	事業費 (次年度見込額)		5,400,000	
⑩	保有割合		0.030	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠□  
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額) □  
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

## 3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)	
		合計	一般財源等					基金充当額
1	生物多様性保全の推進	4,145,278	3,928,148	217,130	基金充当額については基金運用益(162,170)、市の独自積み立て分(54,960)を使用	18%	5,400,000	32,400,000
2	水素スマートシティ神戸構想の推進	60,432,000		60,432,000	基金充当額については、市の独自積み立て分を使用(国費及び基金運用益の充当なし)			
3		0						
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		64,577,278	3,928,148	60,649,130			5,400,000	32,400,000

## 4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	【定性的目標】 生物が多様で、自然のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。	
	【定量的目標】 ① 2027年度までに、市民の生物多様性の保全に関する意識の啓発、行動の喚起を進めるため出前授業、シンポジウム、観察会等に延べ5,000人の市民参加を目指す。 ② 2027年度までに、市と市民との協働による生物多様性の保全活動を推進するため、活動を行う延べ300団体に対して助成を行う。	
	成果実績	①545人、②76団体
	目 標 値	①5000人の市民参加、②300団体に対する助成
	達 成 度	18%

## 令和3年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全の推進	新規・継続区分	継続
事項名	生物多様性保全の推進	開始年度	平成30年度
担当部署	神戸市環境局環境創造課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【定性的目標】

生物が多様で、自然のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。

## 【定量的目標】

- ① 2027年度までに、市民の生物多様性の保全に関する意識の啓発、行動の喚起を進めるため出前授業、シンポジウム、観察会等に延べ5,000人の市民参加を目指す。  
 ② 2027年度までに、市と市民との協働による生物多様性の保全活動を推進するため、活動を行う延べ300団体に対して助成を行う。

## 2. 概要

生物多様性保全に向けた実践活動への支援、及び生物多様性保全についての知識の普及・啓発を行い、生物が多様で、事前のめぐみが豊かなくらしと社会を目指し、神戸の豊かで身近にある自然環境を守り育て、生物多様性の保全を推進する。

## 3. 根拠法令等

神戸市生物多様性の保全に関する条例

## 4. 実施内容等

①生物多様性保全活動の助成  
 「外来生物種及び侵入警戒種の防除活動」、「希少種の保全活動」、「生態系の保全活動」、「生物多様性の普及啓発に関する活動」に取り組む団体に対して、その活動に係る経費の一部を助成する。(17団体、916千円)

②「きせつの生き物さがしガイド」の作成及び学校教育と連携した出前授業  
 市内の小学3年生に「きせつの生き物さがしガイド」を配布する。また「きせつの生き物さがしガイド」を活用して小学校で出前授業を行う。(出前授業11校)

③生物多様性シンポジウム  
 生物多様性保全活動に対する市民の理解を深め、保全活動への参加の促進を図るため、生物多様性シンポジウムを開催する。(開催なし)

④希少種等観察会  
 「生物多様性保全のシンボル拠点」であるキーナの森で希少種等の観察会を開催する。(中止)

(進捗率)

A. 市民参加人数 : 545人 (H30:285人、R1:244人、R2:16人、R3:0人) / 5000人 = 10.9%

B. 助成団体 : 76団体 (H30:19団体、R1:23団体、R2:17団体、R3:17団体) / 300団体 = 25.3%

計 18% (= (A+B) ÷ 2) (小数第一位を四捨五入)